

平成30年 9月 1日

但馬信用金庫

但馬信用金庫が掲げる「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の
平成29年度における取組状況について

当金庫では、お客さまのニーズに合った金融商品・サービスの提供に努めるための行動指針として、平成29年9月に「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を掲げ、当金庫の全ての役職員が遵守し、業務運営に取り組みしてまいりました。

今般、本方針の取組状況をご確認いただくため、下記のとおり公表いたします。また当金庫は今後も定期的に取り組状況や取組成果を検証・公表し、引き続き地域のお客さまからの信頼を第一に、真にお客さまのニーズに合った金融商品・サービスの提供に努めてまいります。

【取組方針1】

当金庫はお客さまの最善の利益を追求するため、長期的で安定した資産形成に寄与する立場で、お客さまの意向と実情に照らして適切な金融商品・サービスの提供を行います。

(1) 長期的で安定した資産形成への寄与

【投資信託】

- ・分配回数を抑えた運用効率の良いファンドを多数取り揃えています。
- ・一般 NISA（少額投資非課税制度）、つみたて NISA の取り扱いも行っており、長期運用・少額積立・分散投資による安定的な資産形成のサポートに努めています。

【生命保険】

- ・お客さまの多様なニーズにお応え出来るよう、幅広いカテゴリーの商品を取り扱っており、保険商品の特徴である「使う」・「増やす」・「遺す」・「贈る」等の機能を活かした長期的な資産形成ニーズにお応えしています。

(2) お客さまの意向と実情に照らして適切な金融商品・サービスの提供

- ・金融商品・サービスのご案内を行う際は、お客さまの資産形成に関するお考えやご投資の目的、知識・経験・ご資産の状況などを十分に踏まえたうえで、お客様の資産形成にとって最適な金融商品・サービスの提供となるよう努めています。

<投資信託カテゴリー別ファンド比率>

カテゴリー	ファンド数	比率
国内債券型	2	4.8%
外国債券型	13	31.0%
国内外バランス型	5	11.9%
国内株式型	8	19.0%
(インデックス)	4	9.5%
(パッシブ)	1	2.4%
(アクティブ)	3	7.1%
外国株式型	8	19.0%
(インデックス)	3	7.1%
(アクティブ)	5	11.9%
国内外リート	6	14.3%
合 計	42 本	100.0%

<分配回数別ファンド比率>

決算分配回数	ファンド数	比率
年 12 回	18	42.9%
年 4 回	4	9.5%
年 2 回	3	7.1%
年 1 回	17	40.5%
合 計	42 本	100.0%

<生命保険カテゴリー別商品比率>

保険種類	支払方法	商品数	比率
定額個人年金	平準払型	1	5.9%
変額保険	平準払型	1	5.9%
変額終身保険	一時払型	3	17.6%
終身保険	一時払・平準払	7	41.2%
	一時払型	6	35.3%
	平準払型	1	5.9%
医療・がん保険	平準払型	5	29.4%
医療保険		3	17.6%
がん保険		2	11.8%
合 計		17 本	100.0%

※ 上記比率の基準日：平成30年3月末 現在

【取組方針2】

当金庫が取り扱う金融商品・サービスにつきましては、お客さまのニーズ、また投資判断に資するよう、商品提供会社から当金庫に支払われる手数料等を開示することで透明性を高め、適正な販売に努めます。

(1) 商品提供会社から当金庫に支払われる手数料情報の開示による透明性の確保

【投資信託】

- ・投資信託の販売にあたっては、商品パンフレット・目論見書による手数料の開示に加え、特に手数料に関する情報を詳細に記した「手数料に関する書面」によるご案内を行っており、常にお客さまの適正な投資判断に資するよう心掛け、適切な販売に努めています。

【生命保険】

- ・ 保険商品のご提案にあたっては、商品パンフレット・契約概要・注意喚起情報等による重要事項説明に加え、「商品概要書」により保険会社から当金庫に支払われる手数料情報を開示し、販売にあたっての透明性を確保しています。

【取組方針3】

当金庫はお客さまの資産状況、取引経験また金融知識を十分に考慮の上、お客さまの理解度に応じた金融商品・サービスの特色、リスクまた市場動向等の分かりやすい情報の提供に努め、お客さまのニーズや取引の目的に合致した金融商品・サービスの提供に努めます。

- (1) お客さまに応じた金融商品・サービス、リスク・市場動向等の分かりやすい情報の提供
 - ・ お客さまの資産状況・取引経験・金融知識等を十分に考慮の上、お客さまの意向と実情に合わせて図・表・グラフ等の資料を用いながら、分かりやすい金融情報を提供させていただきよう努めています。
- (2) お客さまのニーズや取引の目的に合致した金融商品・サービスの提供
 - ・ お客さまのご投資のご意向について様々な角度から聴取させていただき、お客さまの真の運用ニーズを正しく把握するとともに、幅広いカテゴリーの商品を多数取り揃え、お客さまにとって最適な金融商品・サービスの提供に努めています。

【取組方針4】

当金庫は職員への各種研修を通じた教育指導を継続し、総合的な業績評価・人事考課を行うことにより、真にお客さま本位のニーズに合った金融商品・サービスを提供する販売態勢の構築に努めます。

- (1) 職員に対する教育・指導と総合的な業績評価・人事考課の運営
 - ・ 金融商品・サービス提供にかかる職員の能力向上に向け、昨年度は窓口係および渉外係等の営業職員を対象として、毎月、様々な研修を実施しました。
 - ・ 総合的な業績評価・人事考課の運営に向けて業績評価基準の見直しを行い、お客さま本位の業務運営を目的とした様々な評価要素を盛り込んだ業績評価制度とすることで職員の動機付けを行い、真にお客さま本位のニーズに合った金融商品・サービスを提供する販売態勢の構築に努めています。

以上